

運輸安全マネジメントに関する取組み

1. 輸送の安全に関する基本的な方針(安全方針)

令和7年度安全方針 「なによりも安全第一と考え責任ある運転をする」

- ①なにより安全を第一と考え、人の命を預かるという責任感を持つ。
- ②なにより安全を第一と考え、社会の一員としての自覚を持つ。
- ③なにより安全を第一と考え、お客様に安心してご利用いただけるバス会社を目指す。

2. 輸送の安全に関する目標および目標の達成状況

- ①お客様に安心してご利用いただけるバス会社を目指す。
- ②適切な運行管理を行い安心して乗務してもらえるよう努める。
- ③アイドリングストップ
- ④重大事故件数 0 件を目指す。(令和6年 人身事故0件、物損5件)
- ⑤確実なアルコールチェックを行ない飲酒運転を 0 件にする。(令和6年度 飲酒運転 0 件)
- ⑥バス運転者の労働時間等の改善基準告示ならびに貸切バスの交替運転者の配置基準を遵守する。

3. 事故に関する統計

令和6年 人身事故0件、物損5件

4. 輸送の安全のために講じた措置及び講じようとする措置

- ①月に1回全体ミーティングを行ないヒヤリ・ハット危険予知グループ討議を行なう。
- ②NASVA 等の外部講師を招き、安全運転教育を年1回以上行なう。
- ③交通安全対策委員会から交通安全教育DVDをレンタルし活用する。
- ④自動車事故対策センターで運転者適性診断、適齢診断の対象者は受診する。
- ⑤ドライバーの体調管理に努め、健康診断や睡眠時無呼吸症候群の検査を受診する。
- ⑥運輸安全マネジメントの意識を高め、安全管理規程と併せ、全社員に周知徹底を図る。
- ⑦令和7年度安全性評価認定の3つ星維持を目指す。
- ⑧雪道運行に備え、全体研修を行なう。(冬期)

5. 輸送の安全に係る情報の伝達体制その他の組織体制

事故など想定外のことが起こった場合、速やかに経営者及び管理者に連絡が行くようにする。

6. 輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況

- ・月に1回全体ミーティングを行ないヒヤリ・ハット危険予知グループ討議を行なう。
- ・NASVA 等の外部講師を招き、安全運転教育を年1回以上行なう。
- ・NASVA が実施している国土交通省認定セミナーを受講する。
- ・乗務員は、運転者適性診断を受診する。
- ・雪道運行に備え、全体研修を行なう。(冬期)

7. 輸送の安全に係る内部監査の結果並びにそれに基づき講じた措置及び講じようとする措置

内部監査結果

実施日;2023 年 8 月 13 日

監査委員;安全統括管理者、監査委員

監査項目;安全上重要な通達及び連絡事項の社内伝達ルートの確認

健康診断結果、苦情・指導記録等の情報共有

その他

監査結果;安全に影響を及ぼす指摘事項は無かった。

全体ミーティングを通して安全上重要な通達事項は伝えられている事を確認した。またヒヤリハットを定期的に記入、掲示し全体で危険個所を認識していることを確認した。健康診断においては健康診断後、企業医と面談し生活改善に努めるようにしている。

8. 安全管理規定

当社の安全管理規程は別紙の通り。

9. 安全統括管理者

主任 長井正典

10. 行政処分

平成 28 年行政処分なし。(重大事故目標 0 件 達成)

平成 29 年行政処分なし。(重大事故目標 0 件 達成)

平成 30 年行政処分なし。(重大事故目標 0 件 達成)

令和 元 年行政処分なし。(重大事故目標 0 件 達成)

令和 2 年行政処分なし。(重大事故目標 0 件 達成)

令和 3 年行政処分なし。(重大事故目標 0 件 達成)

令和 4 年行政処分なし。(重大事故目標 0 件 達成)

令和 5 年行政処分なし。(重大事故目標 0 件 達成)

令和 6 年行政処分なし。(重大事故目標 0 件 達成)